

新宿区 いきものガイドブック

新宿区

いきものガイドブック

二ホンヤモリ
アサスジ
キンカメムシ
タチツボ
スミレ
メジロ
アオドウガネ
ツツジ
ハハコグサ
ヤマトシジミ
ヤマトシジミ
メジロ
アオドウガネ
ツツジ
ハハコグサ
ヤマトシジミ
メジロ
アオドウガネ
ツツジ
ハハコグサ

妙正寺川
おとめ山公園
戸山公園
神田川
新宿中央公園
新宿御苑
外濠
カルガモ

ホトケノザ
ヤマトシジミ
メジロ
アオドウガネ
ツツジ
ハハコグサ

ツチイナゴ
トウキョウ
ヒメハンミョウ

新宿区のみどりからみる 過去 現在 未来

過去の状況 (大正 10 年)

今から 80 年以上も昔の新宿区にはまだ田畑がありました。区の東側は市街地化ははじまっていますが、大きな公園が緑地を形成しています。いまは生息していませんが、過去の新宿にはコウノトリやキツネもいたとされています。

キツネ
コウノトリ
オオムラサキ

現在の状況 (平成 27 年)

平成に入ると、みどり色の部分はほとんどなくなってしまい、新宿御苑、戸山公園、新宿中央公園などにみどりが残っています。このような状況でも、たくましく生きているいきものたちもいます。

タヌキ
カワセミ
コゲラ
ヒキガエル
アユ
チョウトンボ

未来への緑地構想

まわりの地域とみどりや水辺のつながりを強くしていけば、小鳥やトンボなどの通りみちができて、新宿区のみぎもの多様性が高くなるということが期待されます。

ヤマガラ
ハラビロトンボ

発行：新宿区 みどり土木部 みどり公園課 2017 年 3 月 / 企画・製作：株式会社環境指標生物 デザイン：いきものデザイン研究所

いきものをさがしてみよう!

公園

ぬかるんだ地面
ミミズや土壌(どじょう)動物など

林の中(木の上)
シジュウカラやコゲラなどの小鳥

低木の植えてみ
ウグイスやメジロ 蜜(みつ)を吸いにくる昆虫

水際の樹木
カワセミなど

林のまわり
トカゲなど

水域
カモ類や魚類、トンボなど

池の中の石
方々の甲羅干しや 水際の休息場所

林の中(林床)
キジバト、シロハラ などの鳥や小さな草花

木のてっぺん
ヒヨドリやモズなど

木のみき
樹液(じゅえき)や樹皮(じゅひ)の下に虫がいる

浮生
スズメ、ムクドリ、ハクセキレイなど

石やブロックの下
ミミズやダンゴムシ、ハリマシジミなど

路上
スズメ、ギンゴケなど

建物の上
ときどき猛禽類(もうきんるい)がとまっている

電線や電柱
ハシロカラス、ムクドリなど

街路樹
スズメ、ムクドリ、メジロ、シジュウカラなど (果がみつかることもある)

川
カモ類、トンボなど

街なか

公園や街なかにもいきもの探しのポイントがいっぱい! 遠くのは双眼鏡で、小さいものは虫メガネでのぞいてみよう。肉眼で見えるものもあるよ。

いきものをさがす時の注意点

ちゅういてん

人の迷惑にならないようにさがそう

いきものをおどろかさないうちにさがそう

いきものすみかを壊さないようにしよう

かんさつ よく観察したら元あったようにもどしてあげよう

危ない場所やいきものに気をつけよう

ゴミは必ず持ち帰ろう

外來生物とは...何が問題?

外国から
・アライグマ
・ミンシツビアカミミガメ
・アカボシゴマダラ
・アメリカザリガニ など...

国内の他の地域から
・ヤマガエル
・メダカ
・コイ など...

何が問題?

例

- もともといたいきものを食べたり 生活の場をうばってしまう
- 人間がかまれたり刺されたたり 被害にあう
- 在来のいきものと交雑して 雑種ができてしまう

もともとその地域にいなかったいきもので、外国や日本の他のところからもちこまれたもの

すでに新宿区に生息する外來生物たち

せいぞく
がいらいせいぶつ

セイヨウトンボ
シュロ
ホンセイインコ
ミシシッピアカミミガメ
アカボシゴマダラ
アメリカザリガニ

だから... **外來生物予防3原則**

おやみに日本に **いれない**
飼っている外來生物を野外に **捨てない**
すでにいる外來生物を他地域に **拡げない**

